

■ 2021年度 免許状更新講習シラバス

| 講習の区分 | | 選択必修領域 |
|------------|-------|--|
| 講習名 | | 【B】QFT（質問作り）の手法を用いた道徳科における情報モラルの指導法 |
| 日程 | | 2021年8月3日 |
| 受講対象 | 学校種 | 小学校、中学校、高等学校、特別支援 |
| | 免許教科等 | 特定しない |
| | 職務経験 | 特定しない |
| 担当者 | | 国際情報学部国際情報学科教授 長谷川元洋 |
| 講習概要 | | 小中学校においては道徳科、高校においては、公民科（「公共」、「倫理」）や情報科、総合的な探究の時間等でも実践できる、QFT（質問作り）の手法を用いた情報モラルの授業方法について解説する。実際に質問作り（QFT）の授業を体験していただいたり、模擬授業を行っていただいたりする。事前に、「たった一つを変えるだけ：クラスも教師も自立する『質問づくり』」（新評論）を通読されることをお勧めする。（スライド資料等は、LMS(manaba)からダウンロードできるように準備する予定です。郵送される受講用臨時アカウントを使って、LMSにアクセスしてください。） |
| 講習時間割 | | ① 9:00～10:00（60分）（講義）道徳教育の目標と情報モラルの関係についての講義 ② 10:15～10:45（30分）（講義・演習）QFOCUSについての解説 ③ 10:45～12:05（80分）（演習）QFT（質問作り）の手法による授業の体験 昼休み ④ 13:05～14:25（80分）（演習）QFOCUSの作成演習とQFT（質問作り）の手法による模擬授業（1） ⑤ 14:35～15:55（80分）（演習）QFT（質問作り）の手法による模擬授業（2） ⑥ 16:05～16:35（30分）（試験、講評） |
| 担当者からのお知らせ | | 午後の部は、先生方が児童生徒に考えさせたい題材（QFOCUS）を考えていただく演習を行う予定です。道徳科の教科書や児童生徒課に考えさせたい問題事例の資料（図や写真、文章）をご準備ください。 パソコンでの受講をお勧めします。また、機器にトラブルが生じた場合に備えて、スマートフォンやタブレット等、バックアップとして利用できる機材もご準備ください。テレビ会議システムはGoogle Meetを使用します。使った経験がない方は、講習までにGoogle Meetの接続テストをご自分でおこなっておいてください。ICTの利用に不安がある方は詳しい方に相談してご準備ください。インターネット回線のスピードは、20Mbps以上であることが推奨環境です。インターネット回線スピードテスト https://speedtest.gate02.ne.jp/ 等で測定してください。 |

| 講習の区分 | | 選択領域 |
|------------|--|--|
| 講習名 | | 【C】アクションラーニング「質問会議」による仕事上の課題の解決の体験 |
| 日程 | | 2021年8月4日 |
| 履修認定対象職種 | | 教諭、栄養教諭、養護教諭 |
| 主な受講対象者 | | 全教員 |
| 担当者 | | 国際情報学部国際情報学科教授 長谷川元洋 |
| 講習概要 | | 6名程度のチームを作り、参加者が実際に直面している問題・課題を題材にして、自身の問題解決能力の伸長、園児児童生徒の問題解決能力の育成、同僚の支援等にも役立てられる方法を質問会議の体験を通して学びます。（「質問会議」は株式会社ラーニングデザインセンターの登録商標です。） （スライド資料等は、LMS(manaba)からダウンロードできるように準備する予定です。郵送される受講用臨時アカウントを使って、LMSにアクセスしてください。なお、質問会議のセッションスクリプトは配布できませんこと、ご了承ください。） |
| 講習時間割 | | ① 9:00～10:00（60分）（講義）アクションラーニングについての講義 ② 10:15～10:45（30分）（講義）質問会議の行い方の説明 ③ 10:45～12:05（80分）（演習）教育現場の問題を取り上げた質問会議（1） 昼休み ④ 13:05～14:25（80分）（演習）教育現場の問題を取り上げた質問会議（2） ⑤ 14:35～15:55（80分）（演習）教育現場の問題を取り上げた質問会議（3） ⑥ 16:05～16:35（30分）（試験、講評） |
| 担当者からのお知らせ | | 事前に「20代で身につけたい質問力」（清宮普美代 中経出版 Kindle版 ¥1,390円、紙の書籍は絶版となっているため、中古本またはKindle版を入手してください）、「質問会議 なぜ質問だけの会議で生産性が上がるのか？」（清宮普美代 PHP研究所 ¥1,296円）をお読みになることをお勧めします。 パソコンでの受講をお勧めします。また、機器にトラブルが生じた場合に備えて、スマートフォンやタブレット等、バックアップとして利用できる機材もご準備ください。テレビ会議システムはGoogle Meetを使用します。使った経験がない方は、講習までにGoogle Meetの接続テストをご自分でおこなっておいてください。ICTの利用に不安がある方は詳しい方に相談してご準備ください。インターネット回線のスピードは、20Mbps以上であることが推奨環境です。インターネット回線スピードテスト https://speedtest.gate02.ne.jp/ 等で測定してください。 |